特別事業

品川宿観光PR事業「江戸名所図会展」、「まち歩き」が大盛況!



「江戸名所図会」は200年前に刊行された観光ガイドブック。この中に品川宿は23ヶ所も描かれており、当時、品川宿がいかに観光に値するまちであったかがよく分かる。そして本図会を見ると、品川宿は実は、江戸時代からほとんど変わっていないことに気が付く。目黒川が直線になり、海が遠くなって、まち中にビルが建ち並んだが、東海道を背骨にして横丁と路地とで構成されるまちの姿形は、江戸のままと言っても決して過言ではない。やはり東海道は品川宿のみならず、日本の貴重な歴史遺産だと、改めて知る今回の展示であった。なお展示期間中、毎週水曜日に街道文庫の田中義巳さんの解説会を開いたところ、延べ70名を超える方々が参加くださった。そして展示をご覧になった江戸学の第一人者・田中優子さん(前法政大学総長)からも高い評価をいただいた。

また展示に併せ全4回「江戸名所図会から200年前のまちを探そう!品川宿まち歩き」を開催したところ毎回、定数を超える10名から16名もの参加者があり、講師／案内人の田中さんの用意した豊富な資料をもとにまち歩きを楽しんだ。この他、品川宿PR動画「品川宿人物図会伊與久なつむさん（景観アドバイザー)」と「品川宿名所図会　御殿山編」を制作、ホームページとYouTube（チャンネル名：品川宿まちづくり）にアップした。

新年度の「江戸名所図会展」は南品川宿編。こちらもぜひ、ご高覧を!

本PR事業は新年度も引き続き、品川区文化観光戦略課のご支援をいただき、今回紹介できなかった南品川宿周辺の図会を展示し、併せてまち歩きも実施する。どうぞお楽しみいただきたい!　（佐山吉孝）

Local Connect

「LOCAL CONNECT」は、2024年から始まった、日本各地および韓国の地域プレーヤー同士が連携し、人材交流や情報交換を通じて、新しい旅のかたちを創るネットワークです。2月5日、品川健康センターにて「LOCAL CONNECT 2025 TOKYO MEET UP」を開催いたしました。全国および韓国からの参加者に加え、地元品川の方々やご支援いただいている品川区役所、外郭団体の関係者の皆様にも多数ご参加いただき、「旅でかなえる多文化共生」をテーマに交流と対話を深めました。地域の未来を共につくる意義を実感したとの声が多く寄せられ、地域間連携や国際交流への期待が高まりました。今後も品川と各地のつながりを深め、継続的な学びと交流を通じて、地域の活性化に貢献してまいります。(和田紀子　阿波浩子)

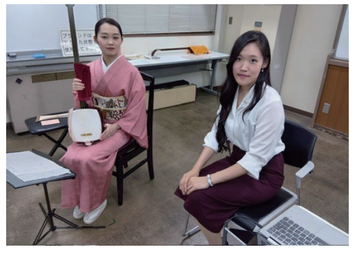


品川宿史談会

令和６年度は３回の講演を催しました。令和７年のNHK大河ドラマに蔦重が取り上げられると云うことで、品川宿の江戸時代をテーマにいたしました。

第十八回は「江戸遊里の大関格である品川と深川～洒落本を中心にそれぞれの繁栄の特徴を対比する」講師：立教大学名誉教授。自由学園長 渡辺憲司氏。第十九回は「御殿山日比谷平右衛門邸から辿る～日比谷家の近代・近世・中世」講師：慶応大学教授、実践女子大教授 日比谷孟俊氏。第二十回は「近世文学に映し出された江戸期品川宿」～その音楽文化を吉原遊廓との接点からさぐる」講師：東京芸術大学音楽学博士青木慧氏・復元演奏：芸大邦楽部大学院修士町田夢子氏。貴重な講師をお迎えいたしました。

今年度は第二十一回「浮世絵に描かれた千石船」を元品川歴史観副館長柘植信行先生の講演。品川沖の海運の研究史を解き明かせて頂きます。９月２２日開催(予定)。第二十二回は「緒明横丁の緒明さん」ということで、静岡県三島市の緒明氏御子孫のご出席を願っております。第二十三回は交渉中。　（新実正義）



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会　会員募集のご案内

まちづくりはみんなでたのしく!　どんな提案もオッケー、どなたでもウェルカム、すべてオープンです。
品川宿では今日もどこかで何だか楽しそうなことが動いています。お預かりした会費は各プロジェクトの運営費としています。

1. 月例運営委員会　毎月最終火曜日20時～(年末など変更あり)　場所：品川宿交流館　どなたでも見学、参加、提案オッケーです!
2. 広報活動(会報「みこしだこ」、「品川宿かわら版」の発行、HP・FB運用など)
3. 品川宿交流館、南品川櫻河岸 まちなか観光案内所の運営(来宿者へのおもてなし、地域交流、活動・イベント受入など)
4. サポート事業(区内学校支援、伝統文化実演、ホッケー、サッカースクールなど)
5. 地域事業の主催・共催・協力(しながわ宿場まつり、しながわ運河まつり、品川浦・天王洲地区運河ルネッサンス協議会、品川宿史談会、灯篭プロジェクト、品川宿ハロウィンなど他多数)
6. 応援プロジェクト(ゲストハウス品川宿、ドキュメント、わいわい晩ごはんなど多数)

\HPはこちら/

◎年会費／団体・法人 30,000円　個人 10,000円　一度遊びにいらしてください。ご連絡お待ちしています!

品川区北品川2-28-19　品川宿交流館　電話 03-3472-4772　FAX 03-3472-4770　メール machikyo@west.cts.ne.jp

東海道品川宿
宿品 会報みこしだこ
発行：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
2025年 新年度版
2025年5月発行 第64号

品川宿は今年もイベントが盛り沢山

4月に入り、令和7年度が始まりました。今年は２月末から暖かい日が続き、桜の開花が早まりそうでしたが、直前で再び冷え込んで、まるで調整したかのように3月下旬の満開となりました。開花してからも冷え込む日が多く、桜が長持ちしてくれたお陰でお花見を随分と長く楽しめたことと思います。花冷え、花曇り、花嵐、花風、花霞、花散らしの雨、花筏など、桜にちなんだ言葉は数多くあり、日本人の情緒の豊かさを感じ取れます。特に、目黒川では両岸から迫り出した枝が川面に届きそうで、散り始めの時期の花筏もとても見事で美しかったです。

さて、第一地域センターの地区祭りを皮切りに、9月27日（土）28日（日）でしながわ宿場まつりが開催されます。去年はコロナ明け5年ぶりにおいらん道中も行われました。今年も宿場ナイトと共催してまちを江戸時代にタイムスリップしていきます。

11月15日（土）～ 26日（水）は聴覚障碍者アスリートによるデフリンピックが開催されます。第1回は1924年にパリで開催され、東京2025デフリンピックは100周年の記念すべき大会で、日本では初めての開催となります。

また11月29日（土） 30日（日）は東海道シンポジウム戸塚宿大会が行われます。戸塚宿は、日本橋からスタートした五十七次（江戸～京都・三条大橋までの五十三次に、大坂までの伏見、淀、枚方、守口の4つの宿場を加える）の品川宿・川崎宿・神奈川宿・保土ヶ谷宿に続き、5番目の宿場町です。品川宿は五十七次の親宿として、これからも東海道シンポジウムの中心的な役割を果たしていきたいと願っています

地域に目を向けると、どうしても京浜急行北品川駅の高架化とそれに伴う踏切の解消、連続立体化工事が目立ちます。将来子どもたちに胸を張って誇れるような駅舎にしようと、地元である北品川一丁目町会さまと京浜急行さまの間で何度も話し合いが行われ、その結果、他に類をみない素晴らしいデザイン案が出ました。今後もまちづくり協議会は、北一町会さまと緊密に連携して、駅前広場や取り付け道路などより良い駅周辺環境整備のためにも寄与して行きたいと思っています。



旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会
副会長　篠原典男

月例　運営委員会

まちづくり協議会では毎月最終火曜日に『運営委員会』を開催しています。35年以上続く誰でも参加できる「品川宿を語る」場です。まちづくりや品川宿に興味のある方なら，「どなたでもウエルカム、どんな提案もオーケー、すべてオープン！」。多様で多彩な話題で大盛り上がり、何時に終わるのか不安になるくらい。是非一度、ご参加ください。日時：毎月最終火曜20：00～／場所：品川宿交流館1階(年末など変更のある場合もあります。ご確認ください)



品川宿交流館　本宿お休み処

品川宿交流館は、2009年に開館してから、17年目を迎えています。
「江戸名所図会展」や「駄菓子屋またあした」を通じて、来訪者のおもてなしに努めています。

3/20 ～ 6/1まで、京急電鉄さんと連携した商店街や神社仏閣を巡るスタンプラリーの企画を実施しています。また、毎週水曜日午後１時からは、展示解説や街道歩きのアドバイスのため、街道文庫の田中さんに常駐していただいています！さまざまな交流がうまれるよう、これらも盛り上げていきたいと思います！　（竹中茂雄）



南品川櫻河岸　まちなか観光案内所

まちなか観光案内所として生まれ変わり、今年で４年目を迎えます。オープン当初は地元の方々が多く来館していましたが、令和5年8月に国登録有形文化財となってから、旧交番見物のために訪れる人が増えました。建造物が好きな方、古い建物が好きな方、ロケ地巡りと建物の価値を評価していただいていることをとても嬉しく思います。

東海道と目黒川のクロスポイント。これからも品川宿のランドマークとして、地域もみなさんと守っていきたいと思います。　（わだふじこ）



まちの広報部

品川宿は一年を通して、本当にイベント、行事が多いまちです。年中無休なのです。正月、東海道七福神から始まり、運河まつり、例大祭、宿場まつりといった大きな行事から、まちの人たちがつくるアットホームなイベントまで、めくるめくイベント情報をフェイスブックにてアップしています。時々追いつかないこともありますが、品川宿、水辺、天王洲、さらに区内周辺などの情報を告知していけるよう頑張ります！　（まちの広報部）



交流事業

今年の宿場まつりについて



このたび、宿場まつり実行委員長を仰せつかりました、北品川尾張屋の大橋です。みこしだこに、宿場まつりについてお話させていただく機会をいただき、まちづくり協議会の皆様に心より御礼申し上げます。

しながわ宿場まつりは、今では品川区内の最も大きなイベントの1つとして数えられるようになりましたが、もともとは北品川と南品川がひとつになって、何かをやってみたいという諸先輩方のお気持ちから開催に至ったと聞いております。それはまちづくり協議会が北も南も東も西も一つになって品川を盛り上げようとする考え方と同じだと考えております。つまり宿場まつりは、まちづくり協議会の考え方を現実化する文化祭のような立ち位置ではないかと思います。

宿場まつりもまちづくり協議会もいろいろな人に支えられて成り立っていると思いますので、たずさわる皆様のそれぞれ、様々な思いがあると思います。決してひとつではない、異論反論もありますが、それは堀江さんが長年いろんな意見をまとめて、調整にご尽力いただき、そこに賛同する人たちが集まったまちづくり協議会と同質のものであり、宿場まつりとまち協は切っても切れない関係性があるのではないでしょうか。

大橋は今まで何も分からないのに、この品川で言いたい放題を言ってまいりました。若気の至りで様々な人に大変なご迷惑をお掛けしたと反省しております。年齢も重ねてくると、そろそろ自分も堀江会長のやってきたことを守る努力をする年齢になったと思う様になりました。

今年の宿場まつりはこの品川に住む、携わる、好きな、皆様が心から楽しめるようなイベントにしたいと思っております。この街にはいろいろな素晴らしい思いがあり、そのひとつひとつに言霊がこもっていると思います。少しでもその言霊を堀江会長が今までまとめて来た様には出来ないですが、その功績にすこしでも協力することができたらと思っております。それにはこのみこしだこを読んでいらっしゃる皆様のお力が必要でございます。皆様が主役の宿場まつりが成功するように、努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

（しながわ宿場まつり　実行委員長　大橋　登）

第37回　東海道シンポジウム戸塚宿大会

開催日程：2025年11月29日（土）13時～ 16時、会場：ＪＲ戸塚駅前の区役所の4Ｆ・さくらプラザにて開催されます。前半は講演会と市内区内の活動紹介です。横浜開港資料館館長の西川氏による今回のコンセプトにもなる基調講演『横浜市内の東海道～歴史を紡ぐ人・町づくり～』に始まり、『横浜市内の歴史施設と市民の融合』『神奈川台場を語り継ぐ地域活動』『東海道地域を跨いで繋がる活動』などの事例紹介となります。後半は、戸塚の魅力の発信で映像による『戸塚の東海道の紹介』、戸塚歳時記として『柏尾川の桜まつり』『八坂神社のお札まき』を歌と踊りで紹介します。又、3Ｆフロアーでは～とつか宿場まつり～も、同時に開催されており歴史好きな大人から子供まで戸塚の魅力を存分に満喫できる催しとなっています。是非、足を運んでいただけたらと思います。

（とつか宿場まつり実行委員会　委員長　根岸　正夫）



景観まちづくり事業

「生まれ変わる北品川パート2」

北品川駅周辺では、鉄道を高架化する工事が進んでいます。３か所の踏切が除却されることで安全に通行できるようになり、交通渋滞や地域の分断も解消されます。北品川駅は鉄道の高架化に併せて駅舎を新しくし、駅前広場をつくります。高架化工事は、鉄道を運行したまま行うため、線路の位置が現状から変更になります。現在、新しい線路と駅前広場として整備する範囲について、沿道の皆さまのご協力のもと用地取得が進められています。新しい駅舎は、品川区景観計画の重点地区に定められている「旧東海道品川宿地区」に基づき、宿場町の街並みイメージを継承する景観デザインとなるよう、京浜急行電鉄と協議を進めています。駅前広場整備は区の事業であるため、景観デザインはもとより、地元に愛される駅前広場となるよう、今後、皆さんと話し合いながら設計していきます。



補助第149号・品川第一踏切道



北品川第一踏切道

大きく変わる北品川駅周辺ですが、地元の皆さまのご協力や想いをしっかり受け止め、旧東海道品川宿の文化伝統を後世に受け継いでいくまちとなるよう、進めてまいります。

（品川区　片山）

令和7年度、景観アドバイザーの活動について

アドバイザー窓口と景観会議の通常開催を予定しています。

4月1日から品川区景観担当係長さんが交代されました。品川区 都市環境部 都市計画課 景観担当主査の土屋 那家久（なかひさ）様です。前任者の中川仁様とは二年間とても短い間でしたがまちに寄り添っていただき、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

今年度のアドバイザーは、前年度と同じメンバーにて活動いたします。アドバイザーについても柔らかい65歳定年制が芽吹いていて、これからの数年で複数名がその歳に差し掛かります。その折には代わりの若手メンバーが加わって行く事を期待します。人が入れ替わる事で景観の取り組み、またその価値判断は変化していくのだろうと考えています。恐らくそれで良いのだとも考えます。

品川区の景観担当を交えてこれからの数年、どのような考えの元、何に取り組んで行くのかじっくり話をする、初年度になるのかな？と思う次第です。

（景観アドバイザー　いよくなつむ）

宿場周辺 TOPICS

「もっと外であそぼうよ」

北浜こども冒険ひろばは、「NPO法人ふれあいの家ーおばちゃんち」が多年にわたり運営してきましたが、今年の4月から冒険ひろば部門が独立し「NPO法人そとぼーよ」として運営しています。

スタッフの顔ぶれは変わりません。思いも変わりません。これまで同様、地域の皆さんと一緒に、このまちを大切にしていきたいと思います。どうぞ温かく見守っていただければ嬉しいです。

そとぼーよは、その名の通り「ねぇ、そとであそぼ～よ！」と呼び掛けていく団体です。子どもたちが、自然の中で、いろんな人と出会いながら、のびのびと育ってほしい――そんな願いを込めています。まちの皆さんにも、ぜひ子どもたちと関わっていただけたらと思っています。

コロナ禍を経て、なんとなく外に出にくくなってしまった方も多いのではないでしょうか？最近は、人の気配が感じにくくなっているようにも思います。もっと外へ出てみませんか？「北浜こども冒険ひろば」や「聖蹟公園であそぼう！」は、赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまで、どなたでも大歓迎です！

私たち冒険ひろばも、これからもっとまちへ出ていきます。3月には6年ぶりに忍者修業（まちを舞台に忍者修業に挑戦する企画）が復活しました。あ



そびと笑顔がまちに広がってゆきますように。

（北浜こども冒険ひろば　栩秋太洋）

ゲストハウス

皆様、いつも温かいご支援をありがとうございます。おかげさまで当ゲストハウスは、地域の皆様に支えられながら16年目を迎えることができました。昨年「品川宿ゲストハウス＆ツアーズ」として名称を新たにし、現在は北品川の魅力をお客様に伝えるツアーや体験プログラムの準備を進めております。訪日外国人の増加に伴い、よりローカルな滞在を楽しんでいただけるような場所を目指し、近隣ホテルや民泊施設の滞在ゲストと地域を繋ぐ役割を果たしてまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（渡邊崇志　柳樂眞子）



天王洲アイル 2025年度の活動予定

一般社団法人エリアマネジメントTENNOZ（以下「エリマネ」）と品川区は、2022年度に官民連携の会議体「水とみどりの天王洲エリアプラットフォーム（以下「エリプラ」）を立ち上げ、公共空間の活用や未来ビジョンの実現に向けた取り組みを進めてきました。その3年間の活動内容は、現在PR TIMESにてプレスリリースとして公開中です（参照：「エリプラ」ホームページ）。

2025年度も、国土交通省「官民連携まちなか再生推進事業」の「社会実験事業」に引き続き採択され、さらに実践的な取り組みへと展開していく予定です。

また5月24日（土）・25日（日）には、公共空間を活用したイベント『TENNOZ PLACE』（https://www.instagram.com/tennozplace）を開催します。マルシェ、豪華商品が当たる無料スタンプラリー、大人も子供も遊べるワークショップ、忍者修業広場など様々なコンテンツがあります。ぜひ遊びにきてください。

（一般社団法人エリアマネジメントTENNOZ　広報部会　松岡／天王洲リテールマネジメント株式会社）



フリークス東京

品川を拠点に活動している、ホッケーチーム、フリークス東京の2025年シーズンがいよいよスタートします。今季は5/10（土）、11（日）、6/14（土）、10/25（土）、26（日）に日本リーグのホーム5試合が、東京2020五輪が開催された、大井ふ頭中央海浜公園ホッケー場（八潮4-1-19）でおこなわれます。特に6/14は18時試合開始で初のナイターゲームとなります。ビールやお菓子を片手にご家族やご友人と賑々しく試合を観に来てもらえると嬉しいです。選手は全員、違う会社に勤めながら、ホッケーにも全力で打ち込んでいる市民選手ですので、特有の親近感や一体感を感じてもらえると思います。全国の強豪と真剣勝負を繰り広げる、選手達に熱いご声援をお願いします。

詳しくは「フリークス東京」または「ホッケー日本リーグ」で検索ください。

（NPO法人メトロ東京ホッケー＆アスリートクラブ　代表理事　多氣洋平）



品川カルチャークラブ

品川CC（品川カルチャークラブ）は、品川区を拠点とした5競技のスポーツチームを運営する総合型のスポーツクラブです。サッカー、チア、3人制バスケ、アメフト、ブラインドサッカーの5種目の社会人チームが活動しています。

サッカーチームの監督は元サッカー日本代表の槙野智章が努め、メディアからの注目も少しずつ上がっています。近年は子供向けのスクールやイベントを実施し、品川エリアのスポーツを通じた盛り上げ活動に力を入れています。また、「日本一お祭りに出るスポーツチーム」を目指して、様々な地域の活動にも参加しております。

ぜひ地域の盛り上げに品川CCとしてお手伝いできることがございましたらご用命ください！

（品川CC　代表　吉田祐介）



宿周辺 TOPICS

～お寺、動いてます～
静かな存在感であたたかな活動

◆ 海雲寺　品川区南品川３丁目5-21

江戸時代から竈の神様、台所の守護神として千躰荒神王の信仰を集めてきた海雲寺。毎年3月と11月に行われる大祭では、干物、漬け物、乾物、くずもちなど魅惑的な露店が門前に並び、江戸の賑わいが現在まで続いています。

その海雲寺では、2年前から浪曲会が開かれています。浪曲とのつながりは古く、本堂には浪曲師二代目廣澤虎造が奉納した扁額があるなど、多くの寄席芸人が信徒として名を連ねてきました。浪曲会の幕開けは、ご住職による護摩炊きのパフォーマンスから。艶のある浪花節と三味線の音色がお堂に心地よく響きます。

また、お釈迦様の誕生日である4月8日には、初めてのJAZZライブも行われました。なんでもご住職がサックスを嗜んでおられるのだとか。この秋には、第2回が開催の予定です。

テレビやスマホで聴くのとは一味も二味も違うライブ体験を、青物横丁・海雲寺で楽しんでみてはいかがですか？

（茨木直子）



◆ 善福寺　品川区北品川１丁目28-9

北品川本通り商店会主催の「しながわ宿場ナイト」を拡大し、2025年5月31日に、初のシアター＆マルシェイベント「宿場市座」を10時～17時で善福寺で開催いたします。

善福寺は、品川区北品川にある時宗の寺院で、1294年に他阿真教によって開かれました。本堂には、江戸時代の名工・入江長八が手がけた漆喰の鏝絵が残されているお寺です。

宿場ナイトでは、江戸風の衣装をまとった人々が商店会に出没し、まるで江戸時代にタイムスリップ！そんな雰囲気にぴったりの2024年アカデミー賞作品賞受賞映画『侍タイムスリッパー』も無料上映します。映画と江戸の宴、どちらも楽しめる一日。ぜひお越しください！

（長谷川信一郎）



◆ 一心寺　品川区北品川２丁目4-18

このたび品川成田山一心寺の住職に就任いたしました玉井照雅（たまい・しょうが）です。

当寺では毎週木曜・日曜に座禅会を開いており、お気持ちで一汁一菜をお出ししています。そこでは国内外から訪れる方々が自分と向き合う時間を過ごしています。毎月28日のお不動様のご縁日には「祈願護摩」や「ほうろく灸」も実施。

不定期の骨董市や花まつりなど、地域に開かれた親しみあるお寺を目指しています。

毎年お正月に行われる東海七福神の寿老人です。京急電鉄のスタンプラリーでの御朱印協力や、他寺院との連携・情報交換にも取り組んでいます。ぜひお気軽にご参拝ください。

（玉井照雅）



◆ 長福山 本照寺　品川区北品川２丁目20-14

皆様こんにちは。寺子屋みろくはお陰様でオープンより3年目を迎えました。

ご利用内容としては主にマルシェやポップアップが多く、その他にも生花、日本舞踊、茶会、三味線演奏会、着付け教室、料理教室など様々な分野でご活用頂いております。また最近では近所にお住まいの方からも、地域の懇談会会場としてご利用頂き、コミニティースペースとして浸透していると実感しております。

どの活動も素敵な時間が流れ、本照寺に活気をもたらして頂き、有難うございます。この場をお借りして感謝申し上げます。

今後も東京の玄関口「品川」という自覚を持ち、「品川宿」に還元できるよう精進してまいります。

合掌（長福山 本照寺 塚田團樹）



本社新調葵神輿

今年は昭和100年に当たります。

時を同じく、大正末期に作られた品川神社の惣町神輿（宮出し、宮入りの際に階段を昇り降りする一番小さな神輿）も100年を迎え、老朽化が目立つようになり、造り替えることになりました。

関ヶ原の合戦の勝利のお礼に徳川家康公から贈られ、勝海舟が『葵の神輿』と名付けたお神輿（写真）を基に再現し、重さも大きさも次代に誇れる拵えになりました。

5月5日には、神社関係者（神職・氏子総代・惣町・品川拍子保存笛睦会・氏子青年会・頭中）、氏子七町会（北品川一丁目町会・北品川二丁目町会・北品川三丁目親和会・八ツ山町会・小関親睦会・袖ヶ崎新興会・御殿山町会）、友好四団体（品川睦会 龍神連・品川鳳龍会・夢酔同友会・葵巳會）によるお披露目と担ぎ初めが盛大且つ厳粛に執り行われました。

また末永く記憶に残せるように神社正面の階段で記念写真の撮影も行われました。

これからも品川の街の発展を見守り続けてくれるでしょう。（篠原典男）



徳川家康公寄進　御本社葵神輿

水辺プロジェクト

しながわ運河まつり

小さい頃よく遊んでいた公園で今回初めて出店側で参加させていただきました。新しいコミュニティに入ることに最初のミーティングからかなり緊張していましたが、地域の方々の温かさにとても助けられました。将来は皆さんのような温かさを持つのが夢です！

私は普段浅草で人力車を引く「俥夫」として働いています。観光業の１つで常にお客様のことを考え働いています。以前に地元に人力車があったのを覚えており、勝手に運命を感じて急な参加になりました全力で取り組みました。今回のイベントだけではなく様々なイベントに参加させていただきたいと思っております。

人力車以外でも何か出来ないことが無いか考え中です…。

今日も全力で走ってます！

安全運転、行ってきます！！

（友利祥吾　忠鉢和恭）



目黒川航行マナー啓発・交流会

令和７年３月１５日（土）目黒川航行のマナー啓発を目的とした交流会が開催されました。目黒川航行マナー向上委員会（品川区河川下水道課、品川警察署など）のみなさまへ声かけしたところ、２０名の参加者が集まりました。東品川海上公園船着場から五反田リバーステーションまでの区間を平船で航行し、見通しの悪い箇所や、非動力船と動力船のすれ違いや引き波などについて、特に安全面やマナーの観点から情報交換をしました。その後、SUPやカヌーが、動力船の引き波の影響をどのように受けるのか、デモンストレーションを通じて検証を行いました。「ドリーム号」（船清さん）、勝島運河倶楽部、なぎさの会のご協力により、地域、事業者、行政のみなさんが交流する充実した活動となりました。この場をお借りして御礼申し上げます！　（竹中茂雄）



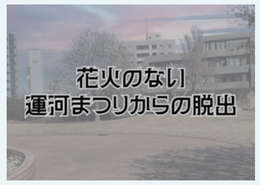
花火のない運河まつりからの脱出

2025年4月12日、13日に東品川海上公園にて行われた「しながわ春の運河まつり」にて、お祭りを舞台とした体験型「謎解きゲーム」を、品川区内発の謎解き制作集団 Caletteが制作しました。

「謎解き」とは参加者自身が物語の主人公となって、謎や暗号を『ひらめき』で解き明かして進めていくものです。今回の謎解きは、「花火玉」がなくなってしまった運河まつりの会場を実際に巡って探し出す、周遊形式の謎解きを制作いたしました。

しながわ運河まつり実行委員会の皆様のご協力で、このコンテンツを制作することができました。また秋にも、運河まつりなどいろいろなお祭りに向けて謎解きも制作したいと思っています。

（Calette 五月女純哉）



しながわ運河まつり 青空familyフィットネス

4月12日（土）天王洲サッカー場において前日のたっぷりめの雨のお天気から、青空の空。ちょうど良い具合に人工芝も乾き赤ちゃんから大人までファミリー世帯約300人が集って大いに動いて笑い溢れる時間となりました。

お笑い芸人『ものまねブルーさん』も一緒にフィットネス・サッカーネタ耳なじみのある音楽に合わせてストレッチをしたり踊ったり子どもたちのエアロビックパフォーマンス発表しました。

跳び箱・鉄棒・トランポリンなど体操用具でいろいろチャレンジ！まさに60分間ファミリー向けエンタメフィットネス！

品川の家族向け定着イベントとして、これからももっと楽しいもっと簡単、もっと気軽なイベントとして定着していけるように工夫して参りたいと思います。

（OKJエアロビックファミリー　代表　上田泰子）



東海道品川橋会場＜さくら咲くテラス＞

４月13日（日）東海道品川橋上にて開催予定だった運河まつりサテライト会場＜さくら咲くテラス＞は、朝から雨模様により中止となりました。次回は秋開催の水辺の観光フェスにて灯篭ロードと品川橋テラス開催しますのでお楽しみに！　（わだふじこ）



しながわっこプロジェクト

しながわっこプロジェクト

2024年6月15日、「城南小学校6年市民科授業 東海道歴史探訪」を実施しました。毎年恒例となったこの授業は、2017年から続く伝統行事です。城南小学校の6年生たちは、校舎を起点に土蔵相模跡、八つ山橋、聖跡公園を含む品川宿周辺の約10カ所を巡り、地域の歴史を体験しました。保護者が安全管理を担当し、地域のまちづくり協議会のメンバーが子供たちと同行して説明員として歴史を解説しました。歴史ポイントでは、時代に合わせた衣装を着たキャストによる小芝居が披露され、歴史の面白さを実感しました。このキャストは主に城南小学校パパ会のメンバーで構成され、さらに校長先生も特別参加しました。授業は朝から始まり午前中いっぱいかけて行われ、子どもたちにとって貴重な学びと楽しい思い出が生まれる場となりました。

（しながわっこプロジェクト　井上明裕）

